



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社 上場取引所 東
コード番号 2437 URL <https://www.shinwa-wise.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡崎 奈美子 TEL 03-5224-8610
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	1,594	△24.7	△136	—	△103	—	△317	—
2023年5月期第3四半期	2,117	46.6	228	753.2	277	530.5	181	—

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 △272百万円 (—%) 2023年5月期第3四半期 178百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	△31.24	—
2023年5月期第3四半期	18.29	16.97

(注) 2024年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	4,257	3,237	75.8
2023年5月期	5,054	3,555	70.0

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 3,225百万円 2023年5月期 3,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	7.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	5.50～7.50	12.50～14.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2024年5月期第2四半期末の配当原資は、全額資本剰余金であります。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,169	14.3	617	13.5	637	10.6	410	9.7	40.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期3Q	10,253,618株	2023年5月期	10,066,518株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期3Q	10,159,157株	2023年5月期3Q	9,935,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2024年5月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金	7円00銭
配当金総額	71百万円

(注) 純資産減少割合 0.021

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年6月1日～2024年2月29日)におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が維持され、GDP成長率は再びプラス成長に転じ、雇用情勢の改善や名目賃金の増加の継続により、緩やかな回復基調が続いております。一方で、常態化する円安や長期化する物価上昇、人手不足を背景とした供給制約、日銀の政策転換、ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりや、中国を始めとする海外経済の減速傾向と、わが国の景気下振れリスクが存在しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、いまだ続くインフレ傾向により資産防衛策としての実物資産への需要は徐々に高まりつつあり、不動産価格指数や金取引価格は上昇基調を維持しているようです。

しかしながら、アートオークション市場においては、今後の価格上昇をにらみ、良品の出し渋り傾向が見られ、オークションへの出品誘致を強化し対策を講じておりますが、以前に比べ低調であると言わざるを得ません。このような厳しい状況の中、新たな実物資産として注目されるワイン・ウイスキーを扱うワイン・リカーオークションでは出品希望も多く寄せられており、堅調に取扱高・売上高を伸ばしております。

プライベートセールにおいても、進行中である大型案件が当期限内に着地できなかったこともあり、取扱高は4,645,532千円(前年同期比23.8%減)、売上高は1,575,364千円(前年同期比18.4%減)と減収となりました。中でもオークション事業は、前年同期分と比し、17.8%減の792,397千円となりました。

Edoverse株式会社は、Edoverse Foundationよりコンサルテーションを担っている、メタバース空間「Edoverse(江戸パース)」が、2024年1月にローンチしました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①アート関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高4,645,532千円（前年同期比23.8%減）、売上高1,575,364千円（前年同期比18.4%減）、セグメント損失23,268千円（前年同期間は334,237千円のセグメント利益）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種別	第35期第3四半期連結累計期間							
	自 2023年6月1日 至 2024年2月29日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	743,650	△42.5	152,391	△37.3	4	199	167	83.9%
近代陶芸オークション	235,520	△40.4	43,210	△36.5	3	612	515	84.2%
近代美術PartⅡオークション	78,845	△45.1	15,229	△52.3	4	357	344	96.4%
コンテンポラリーアートオークション	142,980	△73.6	27,369	△72.9	4	80	75	93.8%
ワイン・リカーオークション (注)1	531,725	14.8	119,134	14.5	3	1,535	1,378	89.8%
ジュエリー&ウォッチオークション (注)1	543,185	186.5	93,040	165.7	2	383	256	66.8%
その他オークション (注)2	57,165	△65.6	11,783	△65.7	2	261	226	86.6%
アイアートオークション	1,452,575	△20.1	330,237	△4.6	4	1,213	906	74.7%
オークション事業合計	3,785,645	△24.4	792,397	△17.8	26	4,640	3,867	83.3%
プライベートセール	731,470	△26.2	668,327	△26.4				
その他	128,416	28.3	114,638	91.3				
プライベートセール・ その他事業合計	859,887	△21.2	782,966	△19.1				
アート関連事業合計	4,645,532	△23.8	1,575,364	△18.4				

(注) 1. ワイン・リカーオークション及びジュエリー&ウォッチオークションは取扱高の増加により、その他オークションから独立した種別として表示しております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催いたします。

3. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

4. 前年同期は近代美術オークション、コンテンポラリーアートオークションにおいて高額作品が出品・落札されております。

i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、オークションの開催回数は26回（前年同期間は27回）でした。内訳は、近代美術オークション、近代美術PartⅡオークション、コンテンポラリーアートオークション、及びアイアートオークションを各4回、近代陶芸オークション、及びワイン・リカーオークションを各3回、Bags/Jewellery&Watchesオークションを2回、MANGAオークション、西洋美術オークションを各1回です。

近代美術オークションは、出品点数29.4%減、落札点数31.6%減となりました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で123.2%の水準で推移し、平均落札単価は16.1%減となりました。

近代陶芸オークションは、出品点数14.8%増、落札点数13.9%増となりましたが、高額品の出品が減少し、平均落札単価は前年比で46.5%減となりました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均101.6%で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、出品点数27.6%減、落札点数25.1%減となり、平均落札単価は前年比で50.8%減少いたしました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で185.3%と高水準で推移いたしました。

コンテンポラリーアートオークションは、出品点数44.8%減、落札点数40.5%減となり、高額作品の出品が減少したため、平均落札単価は前年比で63.1%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均84.9%で推移いたしました。

ワイン・リカーオークションは、出品点数25.4%増、落札点数18.2%増となりました。高額ウイスキーの出品が減少し、平均落札単価は3.2%減少となりました。

アートオークションは、出品点数1,213点、落札点数906点という内容となり、取扱高は1,452,575千円（前年同期比20.1%減）、売上高は330,237千円（前年同期比4.6%減）となりました。

ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当第3四半期連結累計期間は、進行中の大型プライベートセール案件が第4四半期以降にずれ込み、売上高782,966千円（前年同期比19.1%減）となりました。

②その他事業

子会社保有の太陽光発電施設による売電事業とマレーシアにおけるPKS事業は事業継続しており、当第3四半期連結累計期間のその他事業のセグメント売上高は19,077千円（前年同期比89.7%減）、セグメント損失24,458千円（前年同期間は13,080千円のセグメント利益）となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,594,442千円（前年同期比24.7%減）、営業損失136,887千円（前年同期間は228,858千円の営業利益）、経常損失103,667千円（前年同期間は277,359千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失317,374千円（前年同期間は181,755千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、2024年2月20日付「（開示事項の経過）特別損失の計上（本社移転費及び原状回復費）に関するお知らせ」で第3四半期連結会計期間に特別損失として216百万円を計上見込みであることを開示いたしました。一部が第4四半期連結会計期間の計上見込みとなったことにより差異が発生しておりますが、特別損失の総額は変更がない見込みであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,257,158千円となり、前連結会計年度末と比べ797,574千円減少いたしました。その主な内訳は商品の増加130,127千円、その他流動資産の増加187,021千円、その他投資資産の増加77,015千円、現金及び預金の減少1,103,232千円、売掛金の減少40,760千円、オークション未収入金の減少32,476千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,019,567千円になり、前連結会計年度末と比べ480,108千円減少いたしました。その主な内訳はその他流動負債の増加29,434千円、買掛金の減少215,189千円、未払法人税等の減少151,224千円、オークション未払金の減少109,938千円、長期借入金の減少26,661千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,237,590千円になり、前連結会計年度と比べ317,466千円減少いたしました。その主な内訳は利益剰余金の減少241,753千円、資本金の減少1,602,353千円、資本剰余金の増加1,527,363千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2024年5月期の連結業績予想につきましては、オークション事業及び進行中の大型プライベートセール案件の売上が第4四半期連結会計期間において見込まれることから、現時点において2023年7月14日に発表しました業績予想と変更はございません。
- ・第33期第4四半期から業務を開始したEdoverse株式会社は、2024年1月に万全を期した体制構築のもとローンチ

し、引き続きコンサルティング業務を積極的に推進しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,123	1,169,891
売掛金	50,729	9,969
オークション未収入金	261,379	228,902
商品	1,242,794	1,372,922
前渡金	3,425	100
その他	106,397	293,418
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,937,848	3,075,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,712	7
機械装置及び運搬具(純額)	14,260	19,632
土地	12,900	12,900
その他(純額)	25,110	23,153
建設仮勘定	—	15,796
有形固定資産合計	79,983	71,490
無形固定資産		
ソフトウェア	17,864	11,132
のれん	659,793	611,515
その他	—	22,000
無形固定資産合計	677,657	644,648
投資その他の資産		
関係会社株式	60,600	60,600
投資有価証券	26,973	69,686
繰延税金資産	169,544	156,390
その他	237,821	314,836
貸倒引当金	△135,696	△135,696
投資その他の資産合計	359,243	465,817
固定資産合計	1,116,884	1,181,955
資産合計	5,054,732	4,257,158
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,830	42,641
オークション未払金	467,146	357,208
1年内返済予定の長期借入金	35,308	35,548
未払法人税等	175,331	24,106
賞与引当金	34,795	31,441
その他	239,665	269,099
流動負債合計	1,210,077	760,045
固定負債		
長期借入金	238,121	211,460
退職給付に係る負債	33,239	33,352
その他	18,237	14,709
固定負債合計	289,597	259,521
負債合計	1,499,675	1,019,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,674,567	72,213
資本剰余金	1,395,772	2,923,136
利益剰余金	453,260	211,507
株主資本合計	3,523,600	3,206,858
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,744	18,402
その他有価証券評価差額金	6	△129
その他の包括利益累計額合計	16,751	18,273
新株予約権	14,704	12,459
純資産合計	3,555,057	3,237,590
負債純資産合計	5,054,732	4,257,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	2,117,075	1,594,442
売上原価	990,367	743,256
売上総利益	1,126,707	851,185
販売費及び一般管理費	897,849	988,073
営業利益又は営業損失(△)	228,858	△136,887
営業外収益		
受取利息	369	768
デリバティブ評価益	1,375	190
為替差益	5,171	5,491
暗号資産評価益	—	13,537
匿名組合投資利益	30,415	—
保険解約返戻金	—	14,494
その他	15,773	3,701
営業外収益合計	53,104	38,184
営業外費用		
支払利息	2,612	3,663
暗号資産評価損	839	—
その他	1,152	1,301
営業外費用合計	4,603	4,964
経常利益又は経常損失(△)	277,359	△103,667
特別利益		
投資有価証券売却益	37,574	—
特別利益合計	37,574	—
特別損失		
訴訟関連損失	5,646	—
本社移転費用	—	158,356
その他	114	—
特別損失合計	5,761	158,356
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	309,173	△262,024
法人税、住民税及び事業税	101,542	42,135
法人税等調整額	25,875	13,214
法人税等合計	127,417	55,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	181,755	△317,374
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	181,755	△317,374

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	181,755	△317,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,532	△136
為替換算調整勘定	2,120	44,750
その他の包括利益合計	△3,411	44,614
四半期包括利益	178,343	△272,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,343	△272,760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年8月28日開催の当社第34回定時株主総会において、資本金の額の減少と剰余金の処分を行うことを決議され、2023年10月1日に当該決議の効力が発生しました。

この結果、資本金は1,638,557千円減少し、その他資本剰余金が1,491,160千円、繰越利益剰余金が147,397千円増加しましたが、株主資本の合計金額には変動はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,931,514	185,560	2,117,075	—	2,117,075
セグメント利益	334,237	13,080	347,317	△118,458	228,858

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,458千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,575,364	19,077	1,594,442	—	1,594,442
セグメント損失(△)	△23,268	△24,458	△47,726	△89,161	△136,887

(注) セグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,161千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。